

羽ばたけ 大空へ SOUTEN

財団
月報

平成30年度 「競技成績報告会」

鹿屋体育大学及び本財団主催による平成30年度「競技成績報告会」を2月14日に開催しました。この会は、平成30年度に優秀な成績を収めた学生の健闘を讃えるとともに、日頃ご支援をいただいている学内外の支援者に対し、感謝の意をこめて競技成績の報告を行うために毎年開催されているものです。



学生代表のあいさつをする
松本さん

長からの挨拶があり、原口学鹿屋市副市長による「競技成績報告会」を2月14日に開催しました。理事長による乾杯の発声と続き、和やかな雰囲気の中はじまりました。乾杯後には、各課外活動団体顧問から今年度の成績と選手への紹介があり、出席者からの盛大な拍手であたたかな祝福をうけました。

また、スポーツ分野の成績が顕著で鹿屋市の名

声を高めた者に贈られる鹿屋市スポーツ奨励金の贈呈式も執り行われ、対象者を代表して松本智香さん（武道課程4年・剣道部）に原口副市長から奨励金の目録が手渡されました。引き続き、一般社団法人テンオーバーナインスカラーシップの今村潤代表理事から競技成績の成長が特に顕著であ



競技成績優秀者の紹介



懇談会の様子

編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827（直）
編集兼発行人 風呂井 敬

とみなされた課外活動団体の漕艇部、剣道部、体操競技部、カヌー部に支援金の目録が手渡されました。その後、学生を代表して松本さんからご支援いただいた皆様への感謝の気持ちや今後の抱負などが語られ、最後に、瓜田吉久学長補佐（競技力向上担当）から出席者への謝辞が述べられ、盛会のうちに終了しました。

「Blue Winds」の活用方法について 意見交換（なんでんかんでん語ろう会）

2月12日、鹿屋体育大学で学生相談支援室主催の「なんでんかんでん語ろう会」が開催されました。この会は、学生と教職員が直接自由に意見を交わすことで、学生のニーズや満足度を把握し、今後の学生支援の方策に資することを目的として毎年開催されています。

「Blue Windsで行いたいこと」として、「部活動単位での小中学生に競技体験ができる場（スポーツ教室など）を設ける」「部の練習公開」「鹿屋市全体の運動会実施」「ユニフォームにロゴをつける」「小中学校の体育の授業（実演）に学生を派遣する」「大学内・外での広報活動」など、学生から様々な意見が発表

学生挑戦プロジェクト成果報告会を開催

2月13日、鹿屋体育大学で学生挑戦プロジェクト成果報告会が開催されました。学生挑戦プロジェクトは、学生の自主性、企画力、創造性を養うとともに、キャンパスライフの充実・活性化を図ることを目的に毎年実施しており、今年度は2件のプロジェクトが採択されました。

次に、後藤優太さん（武道課程2年）が、障がい者柔道の先進国フランスの柔道クラブで視察や聞き取り調査を行った「フランス知的障がい者柔道の実態調査」の報告を行いました。フランスの知的障がい者柔道であるハンディ柔道の練習内容やその効果、指導するうえで工夫等について得た情報を基に、自身の研究を深めるとともに、地域の団体等へ還元していきたいとのことでした。

初めに中谷至希さん（スポーツ総合課程3年）が、自身の競技力向上とチームビルディング等を学ぶために日本体操界トップチームに参加したその経験について報告しました。事前に現地での実施メニューや到達目標を明確に定めて取り組



身振り手振りを交えながら発表した(左)中谷さんと(右)後藤さん



わかくさ

2月から3月にかけて、20時ごろ星空を眺めると、ちようどオリオン座が最も高く昇り、すぐ下に星空の中で最も明るく見えるおおひぬ座のシリウス、そして地平線近くにシリウスの次に明るいカノープスを見ることが出来る。といったも地平線近くの星は人工的な光の影響を受けてそれほど明るくは見えないが、そもそも観察できる時間が短いので、なかなかレアな存在だ。この時期、まだ星空が見える頃に起きてみると、東の空にはさそり座。真夏の星座の代表が見える。寒い夜空に見るさそり座はなんとも不思議な気分であるが、すでに季節が進んでいることに気づかせてくれる。さそり座の一番明るい星は、赤い星アンタレス。ちようど1年前は、同じく赤く見える火星がこのアンタレスと接近していた。赤い星の競演となっていた。そもそもアンタレスという名は火星に対抗するもの（似たもの）という意味があるらしい。だが、今年のアンタレスの隣には、より明るい木星。それに明けの明星と言われる金星。木星、金星はいずれも白く輝いているためにアンタレスの赤がさらに強調され見える。こちらもレアな共演だ。この時期の星空は一晩で季節を一気に冬から夏へ旅をすることができ、個性豊かな星たちを楽しめる。ちよつとだけ早起きが必要だが、休みの日は見上げてみては。(N・M)

スポーツを愛する
すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

嘉義大学からスポーツの最先端を体験に来訪

1月22日、台湾の嘉義（カギ）大学体育・健康レクリエーション学部（以下「嘉大」）の教員及び学生36名が、日本唯一の国立体育大学である鹿屋体育大学の施設・設備等を体験することにより、日本におけるスポーツの現状を知り、世界的な視野と洞察力が鍛えられることを目的として来学しました。

同大学のスポーツパフォーマンス（以下「SPセンター」）で一行を出迎えた松下雅雄学長は、「本学の充実した教育研究環境を十分に体験してください。今後の共同研究等に繋がることを期待します」と歓迎の言葉を、嘉義大学の洪偉欽博士からも両大学の発展への期待



表敬訪問にて(左から松下学長、洪博士)



測定機器体験の様子

と「今回の訪問受け入れを感謝しています」とお礼が述べられました。一行はSPセンターに備える最先端の測定機器を次々と体験。実際に反射マーカーをつけて投球フォームを測定した参加者は、「このような場所では貴重な体験ができてうれし」と満足そうに述べました。その他の参加者も同センターそのものや紹介・説明される測定機器の一つ一つに驚き、興味を示しながらカメラに収める姿が多く見られる充実した訪問になりました。

天津体育学院の競泳選手のチーム 合宿実施

1月15日、天津体育学院（中華人民共和国）（以下「学院」）のリオ五輪出場選手である李响選手をはじめとする3名の水泳選手と学院の厳紅教授、田斌コーチ、張興トレーナーの3名が鹿屋体育大学の松下雅雄学長を表敬訪問しました。

同大学と学院は平成29年9月に学術交流に関する協定を締結し、萩田太教授、萬久博敏准教授、角川隆明講師など水泳に関する分野を研究・指導する教員と、厳教授等が中心となる学院及び天津市の競泳選手のトレーニング強化を目指す関係者間において交流が活発に行われています。このたび、平成30年12月26日から約50日間の日程で合同合宿が行われたもの。

懇談では、「いつもと違う環境で実力を十分発揮することができるような経験に繋がる有意義な時間にしてほしい」と松下学長が激励すると、厳教授からは受け入れに対する感謝に加え、前回（平成29年）の合宿後には中国の全国大会で好成績を獲得できた嬉しい報告や更なる連携強化についての強い思いを述べられました。



◆着任のご挨拶



スポーツ生命科学系 准教授 沼尾 成晴

2月1日付けで京都薬科大学から着任をいたしました沼尾と申します。私は、筑波大学大学院博士課程人間総合研究科スポーツ医学専攻にて、平成19年に博士号を取得いたしました。その後は、早稲田大学スポーツ科学学術院にて5年間、京都薬科大学にて約7年間、学生の研究指導・教育に従事して参りました。私の専門分野は健康体力学および運動処方学であり、これまで生活習慣病に対する運動処方方の確立を目指し、研究に従事して参りました。また、心疾患患者に対する運動処方（心臓リハビリテーション）に従事して参りました。まだまだ十分な研究、指導実績とはいえませんが、今後さらに発展させ、研究で得た知見を生かし学生教育を進めます。微力ではございますが、これまでの経験を生かし、鹿屋体育大学の発展に貢献できますよう、精一杯努力して参ります。所存でございます。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

JICA青年研修会の一環として実技指導等が実施されました

1月16日、17日にJICA（独立行政法人国際協力機構）青年研修会の一環としてベトナム社会主義共和国の体育教育関係者、教職員など15名が鹿屋体育大学を訪れました。

JICA青年研修会では、アジア、アフリカ、中東などの開発途上国の青年層を日本に招き、それぞれの国で必要とされている分野における経験や技術の基礎的理解を得るための研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する事業です。今回同大学を訪れた一行は約2週間の日程で、鹿児島県内の教育現場や体育施設等を訪問し日本の教育制度や生涯スポーツについての見聞を広げました。

鹿屋体育大学を訪れた2日間では、世界でも稀有な最先端の研究設備を有する同大学施設の見学



SPセンターにて走り高跳びの体験



トランポリンの体験

課外活動団体紹介



アスレティックトレーナー部

私たちアスレティックトレーナー部は今年1月に代表、管理役員を含めた世代交代を行い、ひと足早く2年生中心の新体制としての活動をスタートさせました。

創部以来、現場を強く意識した姿勢で、一貫して「確かな知識と確かな技術」の追求に努めてきた私たちは、毎週大学にて部員同士でのプレゼン発表や相互施術などを中心に行う「学内学習」、講習会への参加や他大学のトレーナー部との交流会での「学外学習」、施術目的のミーティング室開放や蒼天祭へのブース出展を通じた「現場実習」の3つを大きな軸として活動しています。

また、今年度は新たに毎週活動の中に必ずテーピングの実習を行い、より一層現場での実践を意識した部活内容に変わりました。活動がより豊かになったことにより、これまでなかなか定着しなかった新入部員が多く残るようになり今年度だけで部が大きく発展しました。部員が増えたことにより多くの知識や経験者が豊富になり、当初想像していた以上の充実した部活動が行えるようになりました。今後の安定した活動と人員確保のための基盤を作ることが出来たことによりこれからさらなる発展が期待されます。

40年近く続く鹿屋体育大学の歴史の中で、アスレティックトレーナー部は創部12年目と比較的若い部ですがその中でも先輩方から受け継いだものは決して少なくはなく、いまなお私たちの活動の中に息づいています。学生主体の部でありながら、受け継がれてきた活動の指針を尊重しつつ、近年は停滞を許すことなく活動改革を重ね常に前進を続けています。

ひとつふたつと、また着実に生まれ変わりつつある新生アスレティックトレーナー部を来年度もよろしくお願いいたします。

Kubota 農業機械 株式会社 三木商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009 鹿児島県鹿屋市大手町12番1号

TEL (0994) 43-4178 FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・牧之原・野方・垂水・大根占

寿自動車学校

心豊かな車社会を願う

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

運転免許のことなら

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)

ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

守るべきは鹿児島の自然 伝えるべきは鹿児島の食文化

心にしみる...

小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地 TEL0994-58-7171 FAX0994-58-8363 http://www.shochu-kojika.jp

お酒は20歳を過ぎてから。

何か物足りない、何か決め手に欠く、そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に繋がる **株式会社 新生社印刷**

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34 TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541 URL http://www.shinsei-p.co.jp E-mail kan@shinsei-p.co.jp

スポーツリフレッシュセミナーが開催されました！

1月31日、2月1日で鹿屋島県教育委員会と鹿屋体育大学が主催するスポーツリフレッシュセミナーが開催され、28名が参加しました。このセミナーは県内保健体育担当教員及び運動活動指導者等を対象に、体育・スポーツ及び健康に関する専門的知識や最新のトレーニング法の研修を実施することにより、競技力向上を担う指導者としての資質向上を図ることを目的として毎年実施しているもの。

2日間を通して5つの講義と実技指導、グループ討議などが行われ、鹿屋体育大学教員が講師を務めました。どの研修時間も現役教員等向けに創意工夫された充実の内容となる中、1日目の実技

指導では、事前の講義で学んだスピード・パワーのトレーニングを実際に体験。楽しく、全員が参加できるウォーミングアップでは、一風変わった鬼ごっこで白熱した戦いを繰り広げ、その後行った台車を使った体幹トレーニングでは、「きつい」と声が漏れつつも、正しい姿勢を保とうと必死に取り組む姿が見られました。2日目に行われたスポーツ障害の予防と対策の講義では、効果的なテーピングの方法を見学した後、ペアで実践し、テーピングを巻いた後は実際に動いて効果を確かめ、お互いに感想をフィードバックしました。講義の間にも講師に積極的に質問をするなど、大変有意義なセミナーとなりました。



テーピングの実践



台車を使った体幹トレーニング

【学内共同教育研究施設だより】 「屋内トレーニング室」

鹿屋体育大学総合体育館1階に位置する屋内トレーニング室は、屋内種目を中心とした課外活動団体の学生が日々トレーニングを行っている施設です。

同大学における運動競技の充実と促進を図るため、株式会社財宝様からのご寄付により同室は刷新されました。具体的には、ダンベルやベンチプレスなどの更新、室内のケガ防止のためのスポーツマットの敷設、空調設備の更新等です。このことにより、学生がより積極的にトレーニングを行うことができるようになりました。



屋内トレーニング室での練習風景

学生のため、これからも様々な形で学生の支援を行ってまいります。

カナダ遠征に 行って参りました！

女子バレーボール部

鹿屋体育大学女子バレーボール部では、平成30年12月26日～平成31年1月7日までカナダ遠征を行いました。遠征の目的は以下の5つです。①時差等や通常の環境と違う場所でのベストパフォーマンスを発揮させ試合に臨む。②ホームステイプログラムを通して英語によるコミュニケーション能力を向上させる。③海外の大学生が自身のキャリアをどの様に向上させているか情報交換をする。④広いカナダで大学リーグがどの様に展開されているか、また選手はどのようにコンディショニングを整え試合に臨んでいるのか経験する。⑤海外遠征を行うにあたり自分たちでスケジュールを立て実行するという「実践経験」を積む。

今回、アルバータ大学とレジャイナ大学の2チームにお世話になり、様々なプログラムを経験することができました。なかでも13～17歳のジュニア選手を対象にバレーボール教室を開催させてもらえたことが大変勉強になりました。主将の白澤明香里さん（ス



バレーボール教室で説明をする学生の様子

移転しました！ 東京サテライトキャンパス

移転先：東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター 608号室
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
TEL/FAX 03-5440-9066

闘いのスケジュール 4月

- 2日・第95回〔2019年度〕日本選手権水泳競技大会（～8 東京/東京辰巳国際水泳場）
- 6日・全日本学生トラックレースシリーズ第1戦（～7 静岡/伊豆市もしくは周辺地区）
・平成31年度全日本選抜柔道体重別選手権大会（～7 福岡/福岡国際センター）
- 26日・第73回全日本体操競技個人総合選手権大会（～28 群馬/高崎アリーナ）
- 27日・全日本学生ロードカップシリーズ第1戦（滋賀/滋賀県東近江市ふれあい公園）
・第53回織田幹雄記念国際陸上競技大会（～28 広島/広島公園）
- 28日・全日本学生ロードカップシリーズ第2戦（～29 長野/飯山市）

平成30年度 卒業証書・学位記授与式のご案内

卒業証書・学位記授与式

日時：平成31年3月25日（月）10時30分～12時00分
会場：鹿屋体育大学水野講堂

卒業生等懇談会

日時：平成31年3月25日（月）12時20分～13時10分
会場：学生会館学生食堂（鹿屋体育大学内）
主催：国立大学法人鹿屋体育大学
（公財）鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。

（一般）
カイコー（株）様（三万円）

闘いの記録 1月

【自転車競技】

◆2018-2019トラックワールドカップ第5戦（1/18～20 ニュージーランド/ケンブリッジ）

▽女子

チームパーシュート 6位 橋本※

※は他団体選手との出場を示す。

◆2018年度全日本学生トラックレースシリーズ第5戦（1/20 静岡/伊豆ベロドローム）

▽男子

1kmタイムトライアル

1位 岸田 剛
3位 徳田 匠
6位 山根 慶太

ケイリン

2位 山根 慶太
3位 真鍋 智寛
5位 徳田 匠

200mフライングタイムトライアル

3位 真鍋 智寛
5位 黒瀬 浩太郎

4kmインディヴィデュアルパーシュート

2位 デュアルパーシュート 西原 裕太郎

▽女子

500mタイムトライアル

1位 内村 風羽香

ポイントレース 2位 内村 風羽香

◆2018-2019トラックワールドカップ第6戦（1/25～27 中国/香港）

▽女子

チームパーシュート 14位 橋本※

※は他団体選手との出場を示す。